

男女共同参画の視点で女性たちが協力し合いエンパワーメントできる様な関係をイメージして名付けました。

シスターフッド

第78号（2026.9）



豊橋女性団体連絡会とは

女性の多様な活動が広がる中で、互いに切磋琢磨し、その持てる力を社会に向けて発揮していくことを目指しています。

「協働と共生」で様々な課題に取り組みながら、女性団体同士の交流を深めています。

令和8年度参加団体

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、とよはし女性フォーラム、NPO とよはしCAP、ハッピーグループ、NPO まんま、農村輝きネット東三河、ラ・ポール、豊橋商工会議所女性会（休会）、JA 豊橋女性部会(休会)



令和8年度 豊橋女性団体連絡会 役員より



今年度、女性団体連絡会の会長を務めることになりました東三にじの会の朝倉三恵です。日頃より当団体の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。地域のつながりが少しずつ変化していく中で、私たちが顔を合わせ、声を掛け合い、支え合う場の大切さを改めて感じています。こうした場が、私自身にも日々の暮らしの中で小さな安心や笑顔を与えてくれていると感じています。

今年度は、無理のない範囲で参加できる活動づくりを心がけ、各団体の会員の皆さんが「ちょっと行ってみようかな」と気軽に足を運べるような雰囲気育てていきたいと考えています。世代や立場を越えて、気軽に相談したり、学んだり、楽しんだりできる場が広がれば、地域全体がより温かく、安心できるものになるはずです。参加してみたら思いがけず楽しかった、そんな小さな発見が積み重なる一年になれば嬉しく思います。

まだまだ至らない点も多いと思いますが、役員一同、皆さんと一緒に歩む気持ちを大切にしながら活動を進めてまいります。どうぞ今年度も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女性団体連絡会 会長 朝倉三恵

一歳の子どもと一緒に遊びに来ていたご夫婦。パパが子どもに上手に離乳食を食べさせていました。「上手ですね」と声をかけると「いつもやっていますから」との返事。ママともお話してみると、「離乳食はパパの役割、他にもいろいろとやってもらっています」と。「私たちの子育てのころは、やってもらってありがたいって思ったりしたけど、どんな気持ち？」と聞いてみると「二人の子どもなので当たり前です」と笑顔で答えられました。

ばあばの世代になって子育て当時を思い出すと、私だけが、出かけるときは家事をやり切って「ご飯も用意してあるから、後は頼みます」と言って少し後ろめたい気持ちで出かけていました。(三世帯同居だったこともあるかもしれませんが)「当たり前です」と言い切った若いご夫婦を、まぶしく思いました。社会の中で女性の有り様は、一気に変わるわけではありませんが、一步ずつ進んでいるのだと感じます。

その中、この女性団体連絡会の次の役割は何でしょう？皆さんが考えていく一年になるといいなと思っています。

女性団体連絡会 副会長 大谷靖子

「会員の渡辺則子さんの市政120周年企画の報告です」

【報告】 豊橋市制120周年豊橋市市民協働推進条例20年 記録作成 2026/07/21

” はたちの今を Let's トーク ”

日 時 : 2026年7月18日(土) 13時半~15時半

場 所 : ミナクル(大清水まなび交流館)第3会議室

参加者 : 6名<サプライズゲスト>大清水まなび交流館館長・木和田治伸さん

～市民協働のはじまりは、市の職員さんから～

豊橋市は、8月1日、市制120周年を迎える。100周年の時には、愛大の学生さんの駄菓子屋活動を応援したことで、多世代交流ひろば「ありがたや」の開設につながりました。110周年では、NPOまんまの子育て支援活動の試みとして「雑巾楽会」を開催。現在の日常活動の原動力となっています。

私たちにとって身近な「協働」20年の市政を振り返り、その実態を探り、記録を共有したいと考え、トークの会を提案しました。酷暑の中、ご参加下さった皆さまに感謝します。

Q:なぜミナクルで開催?

A:①市民協働の図書館づくりのモデルであること。
②20年前のカリオンは直営で、安全生活課主任の木和田さんが、市民協働への熱い思いを語って下った記憶が鮮明。追っかけて、ここにきました。10年経った図書館のある生涯学習センター。快適な学習環境に大満足です。

Q:今日のトークの流れは?

A:自己紹介では「協働って分からないから、学びたいと思って来た」、「子どもが公共施設で遊ぶことに対して、管理第一で配慮がない言葉を耳にした。」に続きました。また、市制90周年から今まで5人の市長さんの、市政運営に関する話題もちょっぴり。市長交代で、市政への関心が高まっているようでした。こうして市政について直接トークの試みは、新鮮でやりがいがあると思います。出前講座なども取り組みたいとの声にも、お応えしたいです。

【木和田さんのお話を聞いて】

20数年前、NPO やボランティア、市民活動支援などに取り組む流れの中で、市民センターとして、カリオンがその役割を担うことになった。上司の鷺坂さんが公園づくりなどで市民協働を先導された時代の実績に学ぶことが多い。市役所全部局で、「市民協働」はキーワードとして使われている。「ミナクルでは、使い易い環境を目指している。たとえば、掲示物や禁止項目など、管理上からの発想でなく、共に使い易い学びの施設になることを願って取り組んでいる。」

学生さんが多い2階での心身が休まるコーナーの様子からも、地域の皆さんから、喜ばれているミナクルであることは、市民協働の面からも心強い限りです。条例制定から20年を機に、市民と職員さんとの話し合いへの期待が、ますます高まりました。さて、2回目の開催に向けてご意見下さいね。

【今回の試みで、協働への理解が少しは進んだ?】…参加された皆さんから届いた声より…

「私は図書館が大好きなので、ミナクルの会はとても良かった。」「市民協働推進条例とともに制定された平和・交流・共生の都市宣言を、早速調べてノートに写しました。」

(資料)市のHPからダウンロードしました。

- ① 豊橋市市民協働推進条例(平成18年12月19日)
- ② 市民協働の手引き(令和2年)
- ③ 第4次豊橋市市民協働推進計画(2026~2030)

■図書館活動の市民協働事例として参考:「図書館びより」
⇒2号「ブックスタート」/4号「図書館とくらす①向山/5号「②中央図書館」/6号「③大清水図書館」/7号「④まちなか図書館」/8号「⑤アイプラザ図書室」

【後記】この記録は市民協働推進課主査・山本さん、西山さん、カリオン指定管理者吉田センター長に届けます。直接皆さんとトークできる機会が実現しますように。(渡辺則子)

R 8 市民協働推進課 女性団体連絡会事務局より

お名前	職位	近況コメント
斎藤 佳世	市民協働推進課長	旅行が好きです。地域によって女性の立場や活躍の仕方が異なっているのがおもしろいと感じます。豊橋の女性がさらに元気になるお手伝いができるようがんばります。
杉浦 タ紀子	主幹	最近健康のために運動をはじめました。皆様の溢れるパワーに刺激をいただきつつ、体力をつけて、女性がそれぞれの場所で輝ける豊橋の実現を目指して一年頑張ります。
柘植 優子	主査	3分間の筋トレを始めて1か月半。1日も欠かさず継続できていることが励みになっています。仕事においても、課題に向き合いながら、コツコツと進めていきたいです！
伊藤 昭彦	男女共同参画センター職員	昨年12月に豊橋市役所を定年退職し（年齢は察してください！）、この4月から男女共同参画センターで勤務しています。休みの日には、日本の各地に残る昭和の面影（まち、風景、たてもの）を求めて、あちこち出かけています。若い時に（笑）カリオンビルや生活家庭館などで勤務した経験と、年齢を重ねて培ったものを活かしていければと思っています！

活動を通じて目指すもの

- 女性の社会参画、地位向上
女性の能力が十分発揮することができない、また十分評価されない社会を変革していくための諸活動の推進。
- 女性の意識向上
団体間の情報交換、学習の場への参加などによる、自らの意識向上。
- 社会の貢献
女性の社会的役割に対する認識を高め、各団体それぞれの活動の発展とともに、連絡会としての役割を果たしていく。



活動の視点－協働と共生

- 様々な活動団体、グループとの協働
- 行政との協働
- 地域との共生
- 男女をはじめ、様々な人たちとの共生

豊橋女性団体連絡会広報誌 シスターフッド78号

発行年月日 2026.9.16

編集発行 豊橋女性団体連絡会 シスターフッド発行担当
事務局 豊橋市役所 市民協創部 市民協働推進課